

＜新製品ニュース＞

全伝送帯域をカバーし、DWDM光信号も抽出可能な

チューナブル・オプティカル・チャンネル・ドロップ・ユニット

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（東京都中央区、社長：堀越毅一、資本金：62億1,450万円、東証1部）は、光通信用計測機器メーカーのデンマーク国NETTEST社（NETTEST S.A.S）のチューナブル・オプティカル・チャンネル・ドロップ・ユニット「X-TRACT」を販売開始しましたのでお知らせいたします。

＜製品の概要＞

チューナブル・オプティカル・チャンネル・ドロップ・ユニット「X-TRACT」は、光通信ネットワークのWDM信号をBERTやQ-ファクター測定する際に、光ファイバーから特定のWDM波長の信号を抽出するための装置です。全伝送帯域から特定波長抽出が可能で、次世代DWDMシステムにも対応しています。

＜主な特長＞

●DWDM信号のチャンネル選択が可能

DWDM信号を相対波長確度±15pmで自動チャンネル検出し、信号をBERT や Q-ファクター測定用に正確に分離します。

●きれいなチャンネル抽出

矩形のフラット・トップな波長フィルターを用いているので、抽出時は正確な波形を測定用に供給します。

●全伝送帯域をカバー

E-, S-, C- および L-バンドをカバーする1450nmから1650nmで動作します。

●次世代DWDM用伝送システムにも対応

発注時にユーザーがフィルターのバンド幅を指定することで、12.5GHz間隔、40Gb/sのチャンネルにも対応します。

＜主な仕様＞

波長範囲	1450-1650 nm
中心波長確度	± 0.15 nm
中心波長安定度	<±0.05 nm
挿入損失	5dB (4.5 dB typ.)
偏光依存損失 PDL	±0.1 dB
寸法 (W×H×D)	448×133×370mm
重量	10kg

＜価格＞

317万円

<NETTEST S. A. S.について>

代表者：Jens Maałe (CEO)

本社：デンマーク コペンハーゲン

設立：1869年

従業員数：約1500人

売上高：272million\$

事業内容：光通信ネットワークの全ての分野におけるテスト、モニタリング、計測機器製造の世界大手。最先端技術に基づいたユーザー・フレンドリーでコストパフォーマンスの高い機器を開発・製造・出荷する。2000年に仏国Photonetics社を買収し、光通信ネットワーク計測機器製品を拡充した。

NETTEST S. A. S.の詳細については、www.NETTEST.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：948名（2001年4月1日現在）

売上高：1,740億円（2001年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2000年度で約30億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：安間（ヤスマ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail:yasuma@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp

新製品ニュース
コンパクトで使いやすいインターフェイスを持った
光受動部品テスト装置

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（東京都中央区、社長：堀越毅一、資本金：62億1,450万円、東証1部）は、光通信計測機器メーカーのデンマーク国NETTEST社（NETTEST S.A.S）の光受動部品テスト装置「TUNICS-Evolution」を販売開始しましたのでお知らせいたします。

<製品の概要>

光受動部品テスト装置「TUNICS-Evolution」は、光通信ネットワークの中で使用されるグレーティングやAWG、フィルターなどの光受動部品のスペクトル特性を迅速にかつ正確に測定するコンパクトな装置です。波長可変レーザと2台の光パワーメーターを1つの筐体に収めたオールインワンの装置で、光スペクトラムアナライザに似たインターフェイスで容易に操作できます。

<主な特長>

1台のコンパクトな装置にオールインワン

波長可変レーザと2台の光パワーメーターを1つの筐体に収め、入射損失と反射損失のスペクトル測定が可能です。

光スペクトラムアナライザに似た機能と使いやすいインターフェイス

12インチカラー・タッチスクリーンに、光スペクトラムアナライザに似たインターフェイスと機能を再現するので、容易に操作できます。

迅速で高機能の測定

±3pmの絶対波長確度と業界最高の75dBのダイナミックレンジは、DWDMの狭帯域フィルターの特性試験にも適しています。

広いスペクトル領域

1425-1525nmと1525-1625nm用の2モデルで、E-, S-, C- および L-バンドをカバーします。

ダイナミック・オペレーションとスタティック・オペレーション

最終検査工程で光源をスイープモードで動作させて測定することが可能。またプロセス調整やモニタリング用に波長を固定させて測定することも可能です。

フレキシブルで容易に測定を構成

スキャンの幅や場所、スピードを測定のタイプに合わせて設定可能です。

<主な仕様>

	TUNICS-Evolution S	TUNICS-Evolution CL
ディテクタ数	2	2
波長範囲	1425-1525nm	1525-1625nm
絶対波長確度	± 3 pm	± 3 pm
ダイナミックレンジ	75 dB	75 dB
重量	21.5 Kg	21.5 Kg
寸法 (W × H × D)	448 × 270 × 390mm	448 × 270 × 390mm

<価格>

949万円

<NETTEST S.A.Sについて>

代表者：Jens Maaløe (CEO)

本社：デンマーク コペンハーゲン

設立：1869年

従業員数：約1500人

売上高：272million\$

事業内容：光通信ネットワークの全ての分野におけるテスト、モニタリング、計測機器製造の世界大手。最先端技術に基づいたユーザー・フレンドリーでコストパフォーマンスの高い機器を開発・製造・出荷する。2000年に仏国Photonetics社を買収し、光通信ネットワーク計測機器製品を拡充した。

NETTEST S.A.Sの詳細については、www.NETTEST.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：948名（2001年4月1日現在）

売上高：1,740億円（2001年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2000年度で約30億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：安間（ヤスマ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail:yasuma@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp

新製品ニュース
ワンタッチで、スピーディーに自動測定可能な
光アンプ検査システム

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（東京都中央区、社長：堀越毅一、資本金：62億1,450万円、東証1部）は、光通信計測機器メーカーのデンマーク国NETTEST社（NETTEST S.A.S）の光アンプ検査システム「NATS」を販売開始しましたのでお知らせいたします。

<製品の概要>

光アンプ検査システム「NATS」は、光通信ネットワークの中継器などで光信号の増幅を行う光アンプの性能を検査するシステムです。光アンプに関連した全てのパラメータを高精度で測定します。さらに光アンプ生産ラインでの使用を想定して設計されており、ワンタッチでスピーディーに自動測定することが可能です。

<主な特長>

スピーディーに自動測定

測定プロセスを単純化・自動化することで、測定時間とコストを短縮します。S.A.SEノイズフリー補完法を用いた高性能自動測定を行い、40チャンネルのEDFA特性を30秒以内に測定します。

生産ラインでの使用を考えた操作性

ワンタッチで測定を開始し、自動的にレポートを作成します。

高性能測定

SSE-フィルタ光源と、偏波スクランプリングまたは偏波コントローラを使用し高性能の測定が可能です。

PGD測定とPMD測定

PGD測定あるいはPMD測定を偏波に依存せず測定できます。

カスタマイズとアップグレード

飽和光源の数や波長、レポート様式はカスタマイズやアップグレードが可能です。

<主な仕様>

波長範囲	1525 ~ 1625 nm (CバンドとLバンド)
入力信号強度 (確度,再現性)	± 0.3 dB, ± 0.1 dB
出力信号強度 (確度,再現性)	± 0.3 dB, ± 0.1 dB
全出力強度 (確度,再現性)	± 0.2 dB, ± 0.1 dB
全ASE強度 (確度,再現性)	± 0.3 dB, ± 0.1 dB
利得 (確度,再現性)	± 0.3 dB, ± 0.2 dB
NF (確度,再現性)	± 0.5 dB, ± 0.2 dB

<システム構成>

チューニングプローブ光源、飽和光源、スペアナ、光スイッチ、合波器

<価格>

2,000万円-4,000万円

<NETTEST S.A.Sについて>

代表者：Jens Maaløe (CEO)

本社：デンマーク コペンハーゲン

設立：1869年

従業員数：約1500人

売上高：272million\$

事業内容：光通信ネットワークの全ての分野におけるテスト、モニタリング、計測機器製造の世界大手。最先端技術に基づいたユーザー・フレンドリーでコストパフォーマンスの高い機器を開発・製造・出荷する。2000年に仏国Photonetics社を買収し、光通信ネットワーク計測機器製品を拡充した。

NETTEST S.A.Sの詳細については、www.NETTEST.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：948名（2001年4月1日現在）

売上高：1,740億円（2001年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2000年度で約30億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：安間（ヤスマ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail:yasuma@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp

新製品ニュース

業界最高の波長確度と業界最大のチューニングレンジを実現した 計測用波長可変レーザ

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（東京都中央区、社長：堀越毅一、資本金：62億1,450万円、東証1部）は、光通信計測機器メーカーのデンマーク国NETTEST社（NETTEST S.A.S）の波長可変レーザ「TUNICS-Reference」を販売開始しましたのでお知らせいたします。

<製品の概要>

波長可変レーザ「TUNICS-Reference」は、光通信ネットワークの様々な機器の測定に使用する波長可変レーザ光源装置です。業界最高の波長確度（絶対波長確度 $\pm 5\text{pm}$ ）と業界最大のチューニングレンジ（1385-1640nm）を実現したハイパフォーマンスのモデルです。

<主な特長>

業界最高の波長確度

再校正機能を内蔵することで $\pm 5\text{pm}$ の絶対波長確度を持ち、外付けの波長計を使用する必要がありません。

業界最大の波長チューニング範囲

1385nmから1640nmの範囲の各帯域で、150nmの範囲を1台でカバーすることを保証しています。

高出力

光増幅器やWDM装置の特性検査に最適な、+10dBmを超える光出力を提供します。

スイープ・モードとステップ・バイ・ステップ・モード

スイープ・モードでは、波長を迅速かつ測定を中断することなく一定の速度で連続して変化させることが可能です。ステップ・バイ・ステップ・モードでは、レーザは要求された波長で止まるので、長時間の検査や調整が可能です。

<主な仕様>

	Tunics-Reference ES	Tunics-Reference SCL	Tunics-Reference CL
波長範囲 (モードホップフリー)			
P=0 dBm	1390-1540 nm	1460-1610 nm	1490-1650 nm
P=10 dBm	1450-1510 nm	1520-1570 nm	1565-1615 nm
絶対波長確度	+/- 0.005nm	+/- 0.005nm	+/- 0.005nm
スキャン速度	1 ~ 100 nm/s 可変	1 ~ 100 nm/s 可変	1 ~ 100 nm/s 可変
寸法 (W×H×D)	448×133×370mm	448×133×370mm	448×133×370mm
重量	12.5 kg	12.5 kg	12.5 kg

<価格>

609万円

<NETTEST S.A.Sについて>

代表者：Jens Maaløe (CEO)

本社：デンマーク コペンハーゲン

設立：1869年

従業員数：約1500人

売上高：272million\$

事業内容：光通信ネットワークの全ての分野におけるテスト、モニタリング、計測機器製造の世界大手。最先端技術に基づいたユーザー・フレンドリーでコストパフォーマンスの高い機器を開発・製造・出荷する。2000年に仏国Photonetics社を買収し、光通信ネットワーク計測機器製品を拡充した。

NETTEST S.A.Sの詳細については、www.NETTEST.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：948名（2001年4月1日現在）

売上高：1,740億円（2001年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2000年度で約30億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：安間（ヤスマ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail: yasuma@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail: kitakita@marubun.co.jp

新製品ニュース

全てのWDM伝送帯域に対応し次世代DWDM伝送の測定を実現した DWDM光スペクトラムアナライザ

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（東京都中央区、社長：堀越毅一、資本金：62億1,450万円、東証1部）は、光通信計測機器メーカーのデンマーク国NETTEST社（NETTEST S.A.S）のDWDM光スペクトラムアナライザ「WALICS-Reference」を販売開始しましたのでお知らせいたします。

<製品の概要>

DWDM光スペクトラムアナライザ「WALICS-Reference」は、光通信ネットワークのDWDM伝送の測定用に設計されました。全てのWDM伝送帯域に対応し、次世代の高密度DWDM装置の伝送チャンネルを詳細に分析すること可能です。

<主な特長>

1250-1650nmの全てのWDM伝送帯域に対応

E-, S-, C- および L-バンドさらに1310nmのようなモニター波長にも対応しています。1250-1650nmで動作し、DWDM伝送装置のチャンネル出力、波長、OSNRの詳細な分析が可能です。

12.5GHz間隔の高密度WDM装置用の高性能OSNR測定

鋭く狭いスペクトルレスポンスをもっているため、12.5GHz間隔のDWDM装置の光SNRを正確に測定することが可能です。

チャンネル抽出用のフラット・トップ・フィルタ・モード

あるひとつのチャンネルを取り出して追加検査（BERTなど）をすることが可能です。バンド幅は100pmまで可変できます。

正確なチャンネルロケーション

広い波長範囲と温度範囲にわたって高い波長確度（ $\pm 20\text{pm}$ ）を実現しました。室温では画期的な $\pm 10\text{pm}$ の絶対確度を持っています。

時間分解測定

チャンネルの出力と波長を繰り返し測定することで正確な変動を解析することができます。

<主な仕様>

同時チャンネル数	500
チャンネル周波数/波長	1250 ~ 1650 nm (157 ~ 206 THz)
シングル・チャンネル光強度	-75 dBm ~ 20 dBm
ダイナミックレンジ	>42 dB @ $\pm 6.5\text{ GHz}$ ($\pm 0.05\text{ nm}$)
	>55 dB @ $\pm 12.5\text{ GHz}$ ($\pm 0.1\text{ nm}$)
	>62 dB @ $\pm 25\text{ GHz}$ ($\pm 0.2\text{ nm}$)
	>75 dB @ $\pm 50\text{ GHz}$ ($\pm 0.4\text{ nm}$)
読取分解能	0.001 nm (0.1GHz)
光バンド幅	0.02, 0.05, 0.1 nm (2.5, 6.25, 12.5 GHz)
重量	21 Kg
寸法 (H×W×D)	270×448×390 mm

<価格>

463万円

<NETTEST S.A.Sについて>

代表者：Jens Maaløe (CEO)

本社：デンマーク コペンハーゲン

設立：1869年

従業員数：約1500人

売上高：272million\$

事業内容：光通信ネットワークの全ての分野におけるテスト、モニタリング、計測機器製造の世界大手。最先端技術に基づいたユーザー・フレンドリーでコストパフォーマンスの高い機器を開発・製造・出荷する。2000年に仏国Photonetics社を買収し、光通信ネットワーク計測機器製品を拡充した。

NETTEST S.A.Sの詳細については、www.NETTEST.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者：堀越 毅一

本社：東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立：1947年

資本金：62億1450万円

従業員：948名（2001年4月1日現在）

売上高：1,740億円（2001年3月期連結）

事業内容：集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。光通信関連機器を取扱うC&I機器部門では、光通信機器用コンポーネントや光通信計測器などを取扱い、2000年度で約30億円を売り上げている。
東京証券取引所市場第1部に上場。（コード番号：7537）

丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp> をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー C&I機器部

担当：安間（ヤスマ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9864

FAX:03-5644-7627

E-mail:yasuma@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当：喜多（キタ）

中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

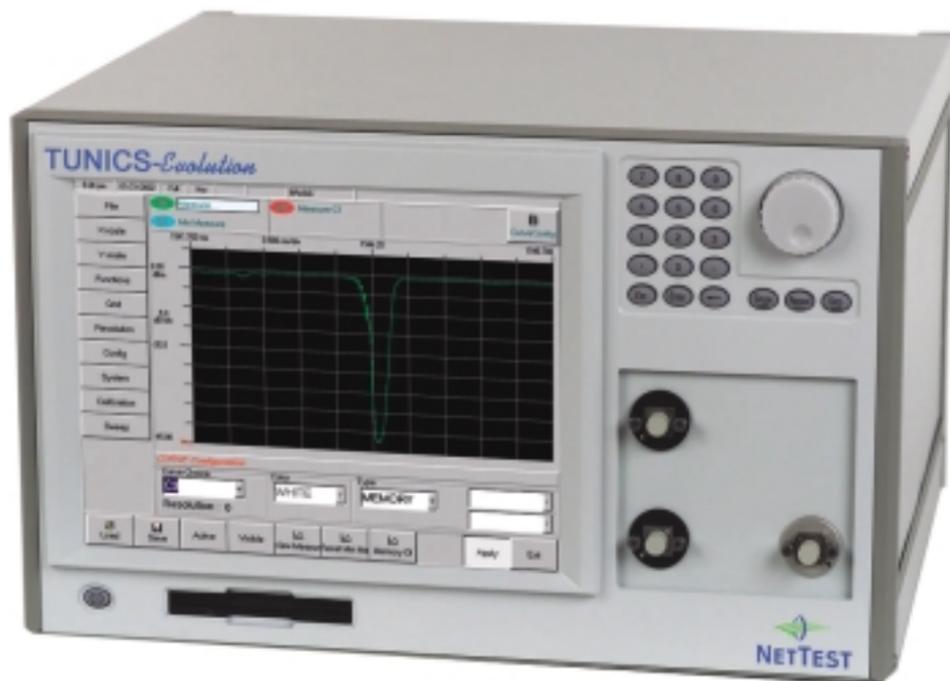
FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp



NetTest社製

チューナブル・オプティカル・チャンネル・ドロップ・ユニット「X-TRACT」



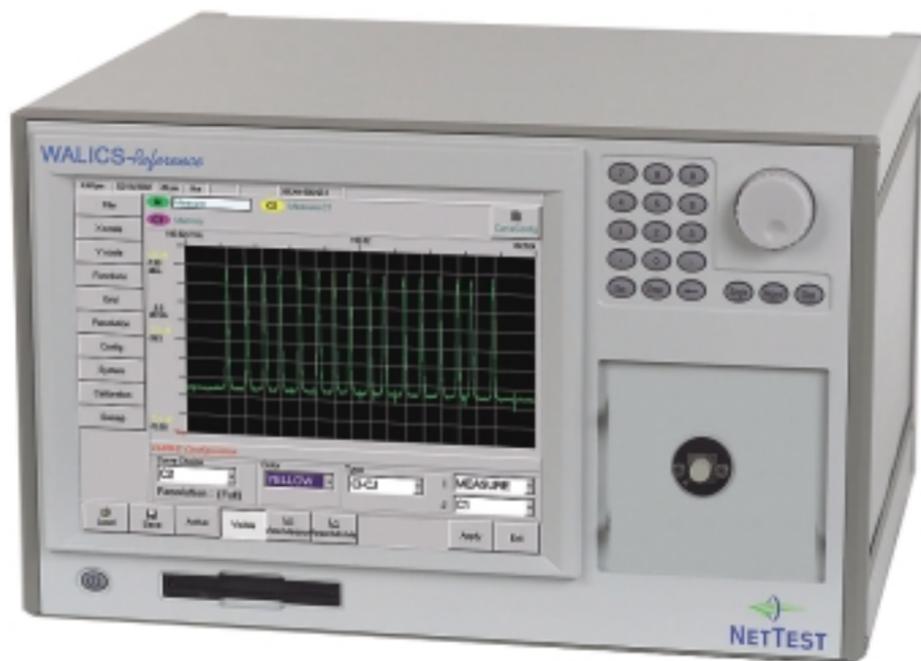
NetTest社製
光受動部品テスト装置「TUNICS-Evolution」



NetTest社製
光アンプ検査システム「NATS」



NetTest社製
波長可変レーザー「TUNICS-Reference」



NetTest社製
DWDM光スペクトラムアナライザ「WALICS-Reference」